

2010年度

高2ファーストステップ
基礎学力チェックテスト
英語 <解答・解説>



【1】

解答

イ, エ, オ, カ, サ (順不同)

各2点×5

解説

各単語のアクセントの位置は以下の太字の部分。

ア ad- vice	イ cal -en-dar	ウ ca- reer	エ del- i -cate
オ dif- fer	カ e-du- cate	キ e- vent	ク i- mag -ine
ケ mu- si -cian	コ oc- cur	サ pat- tern	シ pre- fer
ス po- lice	セ tech- nique	ソ with- in	

【2】

解答

(6) (d) (7) (a) (8) (c) (9) (d) (10) (b) 各2点×5

解説

(6) 「そのレストランは高い赤い建物の隣りにあります。見ればわかりますよ」 You can't **miss** it. は人に道を教えるときなどに「見れば必ずわかります」という意味で使う決まり文句。

(7) 「ジェニー。朝ご飯の用意ができたわよ」「はい、ママ。今行きます」 英語では話し手 (I) が聞き手 (you) の所へ行くときは go ではなくて come を使う。

(8) 「恐れ入りますがその人は今外出しております。伝言をお残しになりますか」「はい、お願いします」 **leave a message** で「伝言を残す」の意味。 **take a message** とすると「伝言を預かる」の意味になる。

(9) 「台風は東京を襲うかな」「そうでないといいな。週末は旅行の計画があるんだ」 I hope **not**. はこの文脈で I hope that the typhoon is not going to hit Tokyo. の意味だが、ここでは not の含まれている that 節を not 1 語で代用していると考えられる。

(10) 「そのクッキーは自由に取って食べてください」「ありがとう」 **help oneself to...** で「…を自由に取って食べる；自由に使う」の意味の熟語。

【3】

解答

(11) (b)	(12) (a)	(13) (a)	(14) (b)	各2点×6
(15) (d)	(16) (d)			

解説

- (11) 「その美しい山々を見るたびに、私は自分の故郷を思い出す」 **(b) remember**には「覚えている」という意味以外に「思い出す」という意味がある。(c)のremindは「〈人に〉何かを思い出させる」の意味だから不適。
- (12) 「今店に入って来た男性は昔からのお客様です」 **(a) customer**は店などの「顧客」。(b) guestは「招待客；(ホテルなどの) 宿泊客」, (c)passengerは「乗客」, (d) visitorは「訪問者」の意味。
- (13) 「彼は呼吸をしていなかったため、誰もが彼は既に死んでいると思った」 **(a) dead**は形容詞で「死んだ状態」の意味。**(b) death**は名詞で「死」, (c) diedはdie (死ぬ) の過去形。**(d) dying**はdieの現在分詞形で、これを空欄に入れると過去進行形になるが、**be dying**は「死にかかっている」の意味になり文脈に合わない。
- (14) 「我が家の真ん前にバス停がある」 **(b) right**は副詞で、場所や時間を表す言葉の前に置いてそれを強調する。(例) *right in the middle of the road* (道のど真ん中で), *right here* (まさにこの場所で)
- (15) 「いつかエジプトを訪れてそこでピラミッドを見てみたい」 **(d) visit**は他動詞で「～を訪れる」の意味。誤ってvisit toとしないよう注意。**(a) go**, **(b) travel**は自動詞で、それぞれgo to..., travel to...のように前置詞が必要。(c)のtripは動詞で用いると「つまづく」の意味。
- (16) 「CDは『コンパクトディスク』を表す」 **(d) stand for ...**は「…を表す」の意味で、このような略語の説明によく用いられる。**(a) の be short of ...**は「…が不足して」の意味の熟語。

【4】

解答

(17) (b)	(18) (c)	(19) (c)	(20) (d)	(21) (a)
(22) (b)	(23) (a)	(24) (c)	(25) (c)	(26) (c)
				各2点×10

解説

- (17) 「覚えていませんか？ 私達はここで3年前に会いましたよ」 今からさかのぼって「～前」は「～ago」で表す。
- (18) 「昨晚ドアの鍵をかけ忘れたようだ。今朝ドアが開いていた」
forget to-は「〈本来するはずなのに〉～するのを忘れる」, **forget -ing**は「(実際に既にしたのに) ～したことを忘れる」の意味。

(19)「今彼がどこにいるのか知っているけど教えられないよ」 whereは節をまとめる働きがあるのでthatは不要。where以下は間接疑問文になるので語順は平叙文と同じhe isという語順になる。

(20)「彼は片手にフォークを、もう片方の手にナイフを持っていた」 2つあることがわかっているものの内訳を示すときは、片方にone, もう片方にthe otherを使う。

(21)「ここで話さない方がいいよ。誰かが聞いているかもしれない」 had better+原形(～した方がよい)の否定形は had better not+原形(～しない方がいい)となる。notの位置を間違えやすいので注意。

(22)「明日、雨が降らない限りパーティーを開く予定です」 unless S+Vで「SがVする場合をのぞけば必ず」→「SがVしない限り」の意味。条件を表す副詞節の中なので未来のことでもwillを使わないで現在形で表す。

(23)「この辺りのホテルに関する情報を何かお持ちですか」 informationは不可算名詞だから複数形になって-sがついたりmanyで修飾することはない。

(24)「バーバラは娘にメモを残して外出した」 (c) leavingは分詞構文で「残して」くらいの意味。「～しながら」の意味で(d)のようなwith -ingという形は使えない。

(25)「もし昨晚ぐっすり寝ていたら、今こんなに眠くないだろうに」 If節内には仮定法過去完了(had had)が使われているが、それを受ける主節の帰結の部分の内容は現在の事実と逆のことが述べられているので、仮定法過去を受ける形を用いる。

(26)「ルーシーは夏休みの間自分の息子を海外留学させた」 空欄に入る動詞の後がher son(O) study(C)という第5文型の形でstudyが動詞の原形であることから、空所には使役動詞letを入れる。空欄に(a) allow, (b) got, (d) permittedを入れると補語はto studyとなるはず。

【5】

解答

(27) アイオカウエキ

(28) エカキオアウイ

(29) キオエイアカウ

(30) カキイウアオエ

(31) イカウアキオエ

(32) エイアキカオウ

各3点(完答:部分点なし)×6

解説

以下、完成した英文は次のとおり。

(27) **Email enables us to easily get in touch** with friends abroad.

enable O to—で「Oが—することを可能にする」、get in touch with ...で「...と連絡をとる」の意味。

(28) I was told **not to turn on the lights before it got dark.**

I was told not to—の部分はtold me not to—（私に—しないように言う）の形の受け身。turn onは「スイッチをつける」。get darkは「暗くなる」の意味。

(29) **Very few people knew how difficult that job is.**

(30) The teacher told us **what kinds of books to read** during the summer vacation.

このto readは、I don't know what to do（何をすべきか）という例文で使われている「疑問詞 to do」と同じ用法。

(31) Would you **be so kind as to show me** the way to the museum?

so ... as to—で「—するほど…な」の意味で、ここでは「教えてくれるほど親切になってもらえませんか」が直訳。show me the wayは第4文型。

(32) **The time may come when we can travel to the moon.**

このwhenは関係副詞で先行詞はthe time。

【6】

解答

(33) A ④ B ③ (34) C ② D ③

A, Cは各2点, B, Dは各3点

解説

(33)

(訳例)

最初の近代式タイプライターは1872年の6月、アメリカ人クリストファー・ショールズによって発明された。その機械は私たちが現在知っているタイプライターのように見えるけれども、キーボードの文字がアルファベット順に並んでいた。ショールズはこの機械を数か月試しに使ってみて、この文字配列では素早くタイプするのは難しいことを知った。その上、指も疲れてしまうのであった。それで彼はキーボードの上でそれとは異なった文字配列を試してみた。それが今日でも我々が使っている配列である。

[A] ④

空所の直後に the machine(S) looked(V)～,the letters(S) ... were(V) という S + V の形が2つ連続していることに着目すると、この2組のS Vを結びつけることができるのは従属接続詞の④ **Though** しかない。

他の選択肢はいずれも直後に S + V を置けない。① **despite** は前置詞で「～にもかかわらず」、② **except for** は前置詞句で「～を除いて」、③ **unlike** は前置詞で「～とは違って」の意味。

[B] ③

第3文 (Sholes tried ...) には、初期の文字配列を持つタイプライターの欠点として「速く打つのが難しい」ことが書かれ、空所[B]の後では「指が疲れた」というまた別の欠点が書かれている。従って ③ **In addition** 「それに加えて」が適切だとわかる。

他の選択肢は ① **At last**が「結局」の意味で、通例努力の末に訪れた望ましい内容が後に続く。② **Nevertheless**は副詞で「それにもかかわらず」、④ **Beside**は前置詞で「～の隣に」の意味（副詞の**besides**「その上」と混乱しないこと）。

(34)

(訳例)

1887年に最初のコンタクトレンズが作られたとき、それはガラス製で眼球全体を覆うものであった。このことが理由で、レンズと目の間に液体を注す必要があり、レンズは短期間しか装着できなかった。1938年に最初のプラスチック製のコンタクトレンズが作られたが、それらは依然として目全体を覆っており、限られた時間しか装着できなかった。1950年になって初めて、目の中心部だけを覆う最初のコンタクトレンズが導入されたのであった。

[C] ②

直前で「最初のコンタクトレンズがガラス製で目全体を覆っていた」との記述があり、これが空所の後の「レンズと目の間に液体を注す必要があった」という記述の「理由」になっていると考えられるので、② **For this reason**（こうした理由で）が最も適切。

他の選択肢 ① **For instance**（例えば）は、空所の後が空所の前の具体例ではないので不可。③ **In spite of this**（これにもかかわらず）、④ **On the contrary**（それどころか）は、空所の前後の内容が逆接的な関係ではないので不適切。

[D] ③

コンタクトレンズの変遷を述べている流れで、材質は当初の「ガラス」から「プラスチック」になったが、「目の全体を覆っている」という特徴は材質が変化した後でも同じであることが述べられている。そこで副詞③ **still**（依然として）を入れることで、その対比が強調される。

他の選択肢、① **gradually**（次第に）、② **hardly**（ほとんど…ない）、④ **yet**（まだ）は文意に合わない。

【7】

解答

(35) are we	(36) wrong number	(37) for granted	各4点×5
(38) turned out	(39) was caught		

解説

(35) 「ここはどこですか」は**Where am I?**または**Where are we?**と言い、**Where is here?**とは言わない。(Whereもhereも副詞でisの主語になれない)

(36) 間違い電話に対して言う決まり文句。ここで言う**wrong number**の**wrong**は「悪い」ではなく「本来～するはずではない；不適切な」の意味。

- (37) **take~for granted**で「~を当然のことだと思ふ」の意味の熟語。
- (38) **S turn out to be C**で「SがCであることがわかる [判明する]」の意味。
- (39) **be caught in a shower**で「急な雨に降られる」の意味。